

## インドでの活動

### 2011年1月16日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ:エディ・サントロの報告

現実のインドは変革期にあります。発展は急速で、美しい新しいアパートや店の隣に貧困と不衛生な広い地区があり、衝撃的な混合ぶりです。人、車、トラック、人力車、牛、想像できるかぎりのあらゆるものが大量に道に溢れ本当に混沌とした風景です。しかし霊において神の命が光として輝いており、日増しにその光が強くなっています。私たちのチームは神を信じるインドには終わりの日々に特別な召命があると信じ、インドとイスラエルとの間に霊によって特別な神の御国の関係が築かれると思われまふ。私たちは2都市で12日間の間、数え切れない非公式の活動に加えて22の集会を行いました。私たちは朝早く集会を開始し夜遅く終えることが多かったです。私たちが参加したすべての教会では急激な成長が見られ、日曜日に最低3つの礼拝が行われていました。私たちはまた、いくつかの特別な祝祭日の集会で奉仕しました。クリスマス・イヴ、クリスマスの日、そして大晦日と各日曜日、私たちの最初の集会は午前6時から始まり、驚くことに、これらの集会は飢え渴いた信者たちによって覆い尽くされました。

これらのすばらしい人々は通常床に何時間も座っているのにもかかわらず、彼らは一生懸命聞き、一杯一杯賛美礼拝します。彼らには、西洋ではほとんど見ることのない度合いの謙遜と奉仕を持っています。圧倒的な貧困の間と大量のヒンズーの悪魔的な礼拝が彼らを取り囲み、彼らにとって神のご臨在は人生の真の避けどころなのです。大晦日はインドでは大きな祝祭日でほとんどの教会では夜を徹して集会が行われます。私たちは金曜日の午後バンガロールからチェンナイに飛び TD 牧師と空港で会いました。彼の教会に行く途中、私たちはいくつかの家族とある会社のために祈るため、3箇所寄りました。彼らはイスラエルから祈りを受けることは大きな祝福と考えています。私たちはその後教会に到着し、3000を超える人々が地下室、メインの礼拝堂、そして屋根の上にひしめき合っていました。TD 師の息子であるフランクリン師は大勢のパワフルな賛美礼拝を導き、その賛美礼拝は圧倒的にヒンズー教の街の道にまで注ぎ出されました。私はおよそ午前1時半まで主となるメッセージを教え始めませんでした。遅い時間にもかかわらず、皆が一生懸命私のメッセージに聞き入っていました。部屋の後ろで誰一人も私語をする人はいなかったのです！この驚くべき夜は主の晩餐で終わりました。

私たちはまた、インドに過去5回訪問した時に何度も訪れた家族の若い女性の結婚式に参列する祝福にあずかりました。私たちは2000人を超える参列者に加わり、式の終わりの方で私はこの新婚夫婦にアロンの祝祷を詠唱し、ジャッキーはとても重要なインドのケーキカット・セレモニーに参加するという荣誉にあずかりました。

何度も私たちはイスラエルと教会との関係について語り、それぞれの集会でメッセージは受け入れられ、イスラエルとここのキリストの体のために祈る事に力を尽くすといひます。インド人信者は、インドにやってきてチェンナイの街で殉教した使徒トマスから福音が伝えられたと信じています。彼ら

は、トマスがユダヤ人であることを知っており、この終わりの日々地再びイスラエルからのユダヤ人を受け入れたことに興奮しています。私は今回のインドへの旅は6回目ですが、チームの一員として旅をしたのは初めてです。なぜイエシュアが弟子たちを一人ずつではなくチームで送り出したのかよく分かります。マティとアレックス、そして私の妻ジャッキーは素晴らしい祝福でした。共に集会や人々のため、そして自分たちのために祈るにつれ、私たちの奉仕の時間の効果は増大していきました。マティはいくつかの完全なメッセージを教え、数多くの集会で分かち合いました。さらに私たちは互いに執り成しをし合い、祈り合うことによって霊的な防御として互いのために立ちました。

私たちが経験した最大の祝福の一つは、ここ数年の間ずっと深い、個人的な関係を築いてきた3組の使徒夫婦の家々に行って、その家族の生活の中で分かち合いをすることができたことでした。TD師、クマール師、そしてマーティン師と彼らの家族は彼らの人生すべてを捧げて福音がインドに根付いていくのを見てきました。共に彼らは100を超える教会を建ててきました。それぞれの教会はかつてまったく信者がいなかった場所に建てられました。彼らは何千人もの人々に光をもたらし、力強い世代のリーダーたちを育て、彼らの努力の実として、信者の増加が早いことです。締めくくりに、私たちはこの期間中私たちのために祈って下さった方々すべてに感謝します。皆様の祈りが継続して私たちを包んでいることを知って旅に出ることは、何という励ましでしょうか。私たちが一生懸命に行った中で、私たちは常に祈りの覆いを感じています。主の恵みが私たちに流れ込み、私たちを通して流れ、私たちの心は常にこれらの人々に対する愛が続けて満たされます。私たちはこの旅をすることができて、とても喜んでいます。神の目的は達成され、主の御国の大いなる収穫をこれから見ることになる私達は信じています。

## 祈りのリクエスト

どうかデンマークで活動しているアシェル、ベティとA師のためにお祈り下さい。

また今週、私たちの親愛なる友が数週間前、大晦日の祈祷会の間テロによる爆破で被害を受けたエジプト、アレキサンドリアにあるコプト教会で奉仕します。ここエルサレムのメシアニック共同体より愛の捧げものと励ましの手紙を携えて彼は送り出されました。